

VEGA の事件の関与について

2019,10.08

原 英司



今回、私が不利の中いろいろな方に相談している件について説明します。

私がこの事業をするにあたり、(株)ベガグループの古賀氏を紹介されました。当時、古賀氏は浜野会長の側近だと聞いていました。私が浜野氏と初めて会った時は、古賀氏が高級車（ジャガー）に乗り私を迎えにきて浜野氏の別荘がある志摩町に連れていかれた時でした。

その場所で事業の話をして、浜野氏からすぐに事業計画をだすように指示を受けました。その後、古賀氏に何度も事業計画を作り、浜野氏に提出をして打ち合わせをしました。その際に、浜野氏から事業計画の承諾を受けました。

その時に出された第一の条件として、

『産廃は儲かるが危険な面もある。いかなる場合でも責任は一人でとってくれ。』との約束がありました。この条件が私にとっての浜野氏との全てです。

工場の工事が始まると古賀氏が会長からの指示で頭に立ち工場の建設に着手しました。この工場はもともと産廃業者が所有していましたが、現状での売買と言うことで譲り受けました。この際、前会社が残した廃棄物が数千もあり、私の知り合いの処分場に行政確認のもと処理もしました。それでも、最初から経費を使いたくないという古賀氏が浜野氏に確認のもと、不適切な処理を私の弟たちに指示をして処理をしたのは事実です。その時、側近の古賀氏が、私や弟の目の前で浜野氏に確認をしました。弟も古賀氏の指示に従うしかありませんでした。

後に営業許可が出た後も古賀氏、薙野氏の間で福岡県のあると「あるゴルフ場」の改修工事に粗悪な残ボード粉を搬入しています。この量は私が鹿児島県志布志市の事件と変わりありません。古賀氏、ベガ社員の田中氏、原司郎が埋めるところを目視しています。この2点は、今回の鹿児島県志布志市の件と比にならないと思います。この後、古賀氏と弟の原司郎が対立関係になり、古賀氏がベガに戻ったと思います。このような経過を薙野氏は全て知っており浜野氏も知っています。

また、ある時私は、浜野氏にベガ本社に呼び出しされたり、グループ会社ヴェータ（不動産）に呼び出しされたりして、浜野氏の所有する土地、4箇所を見てくるように指示されました。その後、ベガの本社で「石膏の粉をうめられないか？」と浜野氏に言われました。私は、「そんなことをしたらすぐに逮捕ですよ」と断りました。話はそれでしたが、知っておいて欲しいことは、浜野氏、薙野氏は産業廃棄物業界の素人ではなく、全てを熟知しているということです。良いことも悪いことも全てを知っているということです。

本題に入りますが、今回の志布志氏の事件は、私の不徳の致すところですが、佐賀県の行政と打ち合わせをした時も肥料（谷山氏）の先の農家までの確認の指導がありました。その時は一旦止めたのですが、田中氏、薙野氏に押されて再開してしまいました。「あの時に止めていれば」ということが本音です。谷山氏を信じていた私のミスです。従って、私は、全ての責任を取り、第一の条件であった『いかなる場合でも責任は一人ですべてとってくれ。』という約束を守り通したということが真実です。拘留期間、何度か薙野氏、ベガ社長の富塚氏が面会に来てくれました。弁護士を6名つけてくれたのですが、今考えれば、私が事実を暴露することを恐れたのではと思いました。

保釈後（翌日）浜野氏とベガ本社にて1対1で話し合いをしました。浜野氏から志布志の廃棄物の片付けの話をされました。この時は、本当に心が報われた瞬間でした。私は事業を失敗させた無念さと責任を感じていたため、志布志の片付けに最後まで全うしようと心に誓いました。

その後、連絡を待ちましたが、数ヶ月たっても連絡がありませんでした。数ヶ月後に入ってきたのは、民事裁判の通知でした。内容は、私への損害賠償請求等でした。内容は、当時の警察調書をそのまま利用されたものだったため、当然裁判には負けることはわかっていました。なぜなら、私はあれだけ社会に迷惑をかけた事件で、私だけの逮捕で終わらせる供述をしていたからです。また、のちに浜野氏、薙野氏は地元マスコミにそれを持って記事にしました。

そのようなことが続いたため、私も真実をはなすことに決めました。
私の育った産業廃棄物の業界は、教元と義理と人情の世界でしたが、このベガグループにはそのような感情は一切ないと思い、今回全ての件を整理し、浜野氏の問題、薙野氏の人を騙して土地を売ることや、現地視察や行政との約束の内容など、汚なき VEGA の全てを暴露するつもりです。

私は、家族も無くし、社会的制裁も受け、キャリアも失いました。いままで培ってきた全てのものを失いました。

私は、浜野氏との約束を一貫して守ってきたのに浜野氏は逆にそれを利用したものだと思います。鹿児島県志布志の不透明なカネの流れは、私と浜野氏が話せばすぐにわかる内容です。数日いただければ詳細を送ります。

私は、ベガ組織の全てが問題だと思います。YES マンだけしかいない会社の中で、会社のトップのもとまで本当の真実が全く届かないからです。今回もまず、やるべきことは、薙野社長と私とで迷惑をかけた顧客に真摯に頭をさげることではないでしょうか。